

2020年9月9日



電源開発株式会社
株式会社 JERA
Equinor ASA

秋田県沖の洋上風力発電事業開発に向けたコンソーシアムの組成について

電源開発株式会社（以下「Jパワー」、本社：東京都中央区、代表取締役社長：渡部肇史）、株式会社JERA（以下「JERA」、本社：東京都中央区、代表取締役社長：小野田聡）、Equinor ASA（以下「エクイノール」、本社：ノルウェー、最高経営責任者：Eldar Sætre）は、「秋田県能代市、三種町及び男鹿市沖」ならびに「秋田県由利本荘市沖」（以下、2海域併せて「本海域」）における洋上風力発電事業の応札に向けコンソーシアムを組成しました。本コンソーシアムは、今後、本海域で予定されている再エネ海域利用法^{*}に基づく公募に応札し、秋田県沖における洋上風力発電事業の実施を目指してまいります。

Jパワーは、国内第2位の規模を誇る合計出力約53万キロワットの風力発電設備を有しており、秋田県内（にかほ市、由利本荘市）でも長期にわたり陸上風力発電所を運営してまいりました。また、洋上風力発電事業では北九州市沖洋上風力発電実証設備の建設・運営ならびに撤去を行うとともに、同地区港湾区域における洋上風力発電事業の公募において優先交渉権者に選定されております。さらに英国トライトン・ノール洋上風力発電事業に参画し、最先端の欧州の建設、運営に関わる知見を蓄積しているところです。

JERAは、本年1月より、洋上風力産業をリードするグローバル企業や団体によって作られた「海洋再生可能エネルギー連合」に本邦企業として唯一参加し、海洋における再生可能エネルギーの持続的な普及に貢献するとともに、再生可能エネルギーにおけるグローバルリーダーを目指し、国内外において大規模な洋上風力発電事業を積極的に推進しています。日本と気象海象条件が類似した台湾においては、開発、建設、運営の各段階に参画することで、異なる事業フェーズの知見を短期間で獲得しており、今後、秋田県沖をはじめとする国内の洋上風力発電事業への展開が期待されます。

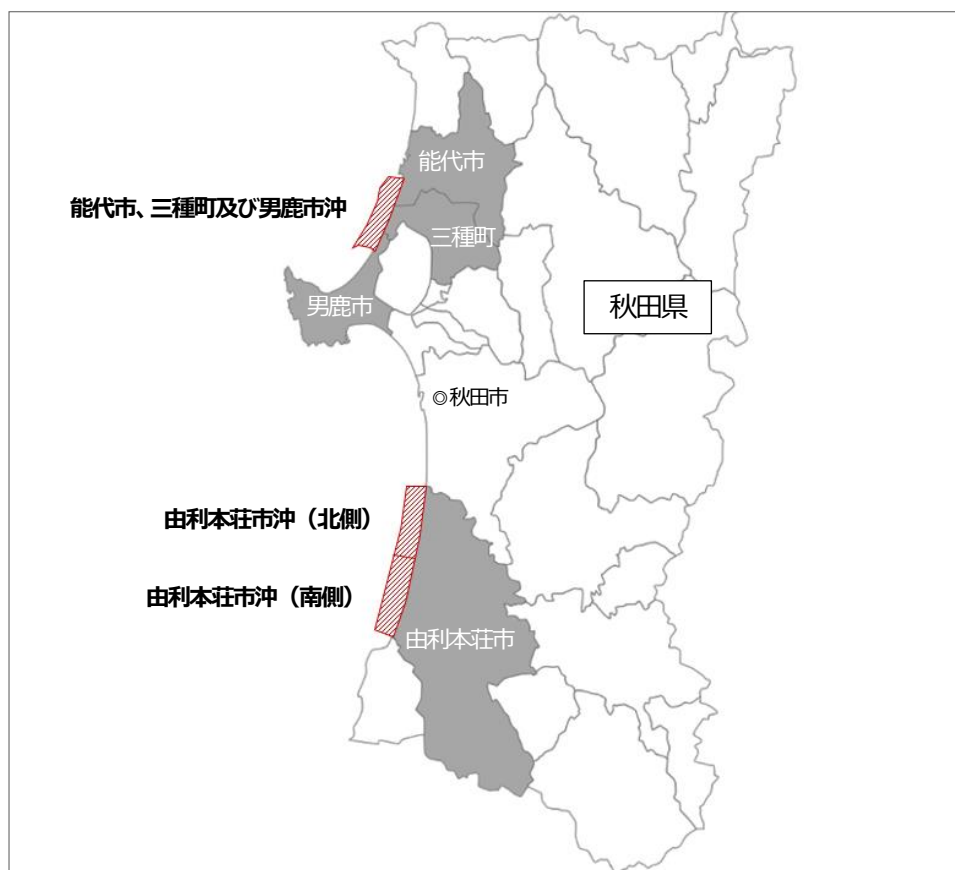
エクイノールは、洋上における石油・ガス開発及び操業を40年間にわたり世界30カ国で実施しており、この経験を活かし、英国、米国北東部、バルト海等での大規模洋上風力発電事業において業界の主導的立場にあります。また、洋上風力発電事業に

においても国際メジャーとなることを目指しており、特に浮体式洋上風力発電事業の分野ではトップランナーの地位を築いています。日本は着床式・浮体式共に大きな成長が期待される重要地域であることから、2018年には東京事務所を開設し、秋田県沖における日本で最初の事業参画に向け積極的かつ真摯に取り組んでいます。

私どもは、これまで長期にわたり多くの大規模プロジェクトを開発から建設、運営まで、自ら一貫して行ってきました。今後は、それぞれが有すノウハウや強みを持ち寄ることで相乗効果を発揮し、十分な実力と実績を有すコンソーシアムとして、長期的、安定的かつ効率的な、世界的にもトップレベルの洋上風力発電事業の実現を目指していきます。

洋上風力発電事業は事業期間が長期であることに加え、風力発電事業として国内では例のない大規模なプロジェクトとなります。私どもは、各協議会のご意見や国の方針を踏まえ、地域の皆様をはじめとする関係者のご理解・ご協力をいただきながら本海域の洋上風力発電事業を進めることで、地域経済の発展と、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律



本コンソーシアムが事業化を目指している促進区域

以上